



WorldYWCA

Week Without Violence

非暴力週間

15TH-21ST OCTOBER
2018

2018年10月15日～21日

Campaign
Toolkit ツールキット





YWCA 非暴力週間は、女性や若い女性、少女に対する暴力の撤廃を目指して毎年行われる、世界的なキャンペーンです。

この1週間では、コミュニティで起こる暴力を終わらせるために、個人・グループが意識を向上させ、考え方を革新し、そしてアクションを起こすことに焦点が置かれます。毎年10月の3週目に、世界中のYWCAが非暴力週間、つまり、暴力のない世界をつくるために多様なアプローチをもって、コミュニティでさまざまなイベントを行う1週間を持ちます。YWCA 非暴力週間は暴力のない世界に向けて、コミュニティに考え、行動するよう呼びかけます。

YWCA では、「暴力のない世界」に、意思決定における女性の発言の強化や、リーダーシップおよび平和構築、女性の経済的エンパワメントの促進、女性・若い女性・少女に対する暴力の終焉、そして若い女性が繋がりが合い、動かし、互いに刺激し合う新しい方法を見つけることが含まれていると考えています。これによって、集合的にアクションを起こすことができるからです。

世界 YWCA 非暴力週間は、暴力のない世界に向けて、考え、行動するようコミュニティを促します。

世界 YWCA ウェブサイト(英語) : www.worldywca.org



#WWV18 #YoungWomenRise #WeekWithoutViolence2018



<https://www.facebook.com/worldywca>



@worldywca



@worldywca

Communications

• 文例集

以下の短い説明文は、プレスリリースや他の資料、「エレベーターピッチ(わずかな時間で説明すること)」など、必要な場面でお使いください。



「世界中で #metoo 運動が高まりを見せ、さまざまな場所における全ての形態の暴力に対して女性から声が挙げられています。これにより、真剣に、かつ緊急にこの問題に取り組む必要性が強められています。世界中で 1 億 2000 万人の少女が人生のある時期に性行為を強要されているのです。世界 YWCA の非暴力週間は、若い女性による意味のある代弁や参加、意思決定を通じて、若い女性と少女の安全が議論の中心に置かれることを求めます。女性たちが安全であるために、女性たちが先導し、声を挙げ、決定をします。」

• 非暴力週間のメッセージ

以下は、女性に対する暴力について明確に説明したい時に、アドボカシー活動や声明文、メディアでの発信など、さまざまな機会にお使いいただけるメッセージになります。

- 女性に対する暴力： 特に親密なパートナーからの暴力や性暴力が、大きな健康問題や女性の人権侵害となっています。
- 家庭内外、あるいは戦時下であるかどうかにかかわらず、女性と少女に対する暴力は公的および私的領域における、世界的に広まっている人権侵害なのです。

- およそ 1200 万人の少女が毎年、今でも結婚させられています¹。
- 18 歳以下の約 1 億 2000 万人の少女、つまり 10 人に 1 人以上が、人生のある時期にレイプやその他の強制的な性行為を経験しています。
- 毎年、2000 万人の女性と少女が性奴隷として売られています²。
- 26 億の女性と少女が、配偶者間のレイプを違法としない国に住んでいます³。
- 女性が声を挙げたとしても、加害者は罪を免れることがあります。11 ヶ国で行われた調査によると、身体的・性的暴力の 6%のみが告発され、1~5%のみが有罪となっています⁴。
- 世界中で 15~19 歳の少女の約 1/4(7000 万人)が、15 歳から身体的暴力の被害を受けたことがあると報告しています²。
- 持続可能な開発目標(SDGs)が 2030 年までに児童婚を無くすことを目指している一方で、今日も、世界中で 5 人に 1 人の少女が 18 歳になるまでに結婚させられています⁵。
- 多くの国で、暴力を受けた女性の 40%以下のみが、何らかの助けを求めました⁶。
- 世界中で現代の奴隷制度に貶められた人全体の内、71%が女性と少女です⁷。国を越えて存在している社会規範や法的枠組みを鑑みると、これは社会的に受け入れられている形態の暴力であると言えます。
- 2016 年、**480 万人**の人が強制的な性搾取の被害者となっています⁸。その内の 99%が女性と少女です。この被害者の内、1/5 人は子どもです。
- 女性性器切除(FGM)を受けた少女の内、約 5 人に 1 人は、訓練を受けた医療従事者によって処置が行われました。いくつかの国において、その数は 4 人中 3 人になります⁹。

1“Child Marriage,” UNICEF, March 5, 2018, https://www.unicef.org/protection/57929_58008.html

2 <https://www.equalitynow.org>

3https://www.unicef.org/publications/files/Hidden_plain_sight_statistical_analysis_Summary_EN_2_Sept_2014.pdf

4

<https://www.springer.com/us/book/9780387732039>

5 UNICEF, State of the World's Children, 2017

6

<https://unstats.un.org/unsd/gender/chapter6/chapter6.html>

7

<https://www.alliance87.org/2017ge/modernslavery#section=2>; 2017

8

<https://www.alliance87.org/2017ge/modernslavery#section=5>; 2017

9 <https://www.unfpa.org/female-genital-mutilation>; 2018 updated

• ハッシュタグ

Twitter や Facebook、Instagram で、キーワードの前にハッシュタグ(#)を使って索引を付け、投稿を目立たせましょう。ハッシュタグを使うことで、クリックすると、リーチの概要が見れ、また特定のキーワードとの関連をつくることができるので、繋がりをつくる上で非常に重要です。Facebook に投稿する時や、Twitter での会話に参加する時に、関連したハッシュタグを使うようにしてください。非暴力週間 2018 の公式ハッシュタグは：

#WWV18

#YoungWomenRise

#YoungWomenLead

#YoungWomenVoices

#WeekWithoutViolence2018

女性に対する暴力の問題について議論する時に、以下のハッシュタグを用いることもできます。

#HearMeToo

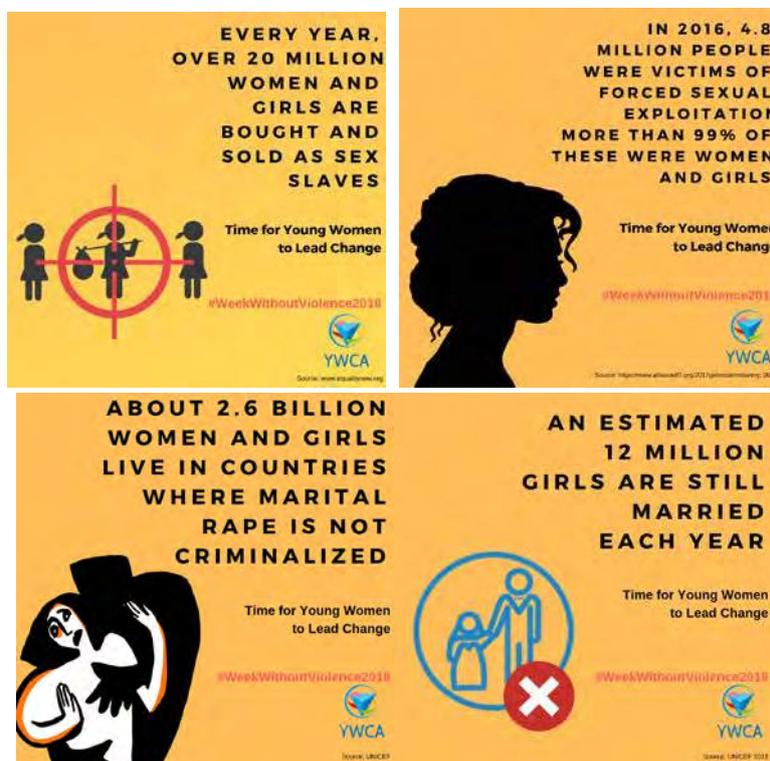
#EndDVNow

#ChildMarriage

#VAWG

• 非暴力週間の画像データ

非暴力週間にちなんだ画像は、以下のリンクからダウンロードしてお使いいただけます。





• メディア

あなたのネットワークにあるローカルおよびナショナルのメディアに働きかけ、ジェンダー平等、そして平和と正義のために若い女性が権力構造を変革する世界に向けて、リーダーシップと意思決定の役割に若い女性を参画させる YWCA のビジョンについて共有しましょう。非暴力週間中にメディアに働きかけることは、以下のような意味で役に立ちます：

- 政府にプレッシャーをかけ、責任を課す
- 私たちのコミュニティに影響を与える女性に対する暴力の現実や問題点について、市民やメディアに伝え、少女と女性をエンパワーする YWCA の働きについて強調する
- 若い女性と少女を YWCA 運動に招き入れ、多世代間の対話やリーダーシップ・トレーニング、アドボカシーの機会に参加してもらい、彼女たちの声が聞かれるようにする

Advocacy content and Resources

• 児童婚

世界的に、近年児童婚の割合が低下しているにもかかわらず、およそ 1200 万人の少女が毎年、未だに結婚させられています。さらに、ジェンダー不平等や社会規範、そして少女に対する機会の欠如といった既存の状況が悪化し、保護の問題や極度の貧困といった新しい要因が発生する紛争や自然災害の影響を受けた人たちの間で、児童婚の割合が増加していることが報告されています。

結果として、若くして結婚した少女は人権侵害を受け、教育や経済的見通し、社会生活、精神的・身体的健康、そして彼女たちの子どもの健康と栄養に対する悪い影響に苦しんでいます。この危機的な課題に取り組む効果的な介入が、緊急で必要とされています。

UNICEF によると、人口増加にある現状を受けて、現在のペースでは、2030 年までに児童婚を終わらせるという持続可能な開発目標を達成することは難しく、その時点までに、さらに 1 億 5000 万人の少女が結婚させられる見通しとなっています。

幼くして結婚した少女の約半数が南アジア、特に 3 人に 1 人がインドで生活しています。彼女たちからは幼少期がはく奪され、教育と雇用への機会を大きく損失します。更に、ドメスティック・バイオレンスの被害を受けやすく、セーフターセックス(望まない妊娠や性病の感染リスクを下げるように配慮した性行為)の交渉をし難いことがしばしばあり、それにより性感染症に感染したり、幼くして妊娠することがあります。2015 年、国際社会は 2030 年までに児童婚や強制結婚、女性性器切除などの危険な慣習を撤廃することを含んだ開発目標を打ち立てました。(Unicef, 2014)

詳細は:

<https://www.girlsnotbrides.org/wp-content/uploads/2018/07/>



• 女性性器切除(FGM)

女性性器切除とは世界中の女性と少女に影響を及ぼす人権の侵害行為です。女性性器切除を受けた女性や少女の正確な数は分かりませんが、少なくとも 2 億人の女性や少女が被害にあっていることが推定されます。その 2 億人の内、4400 万人が 15 歳以下の少女です。そのような慣習を撤廃することは、世界的に取り組むべき問題です。2012 年の国連総会では、この慣習を根絶するため、努力の集結を呼びかけるよう決議し、2015 年、国際社会は 2030 年までに児童婚や強制結婚、女性性器切除などの危険な慣習を撤廃することを含んだ開発目標を打ち立てました。(Unicef, 2016)

詳細は: <http://www.unfpa.org/female-genital-mutilation>



- **女性と少女に対する暴力**

女性と少女に対する暴力は人権の重大な侵害です。被害に遭った方の身体および精神的な状態は直ちに、また長期に渡って影響を受けます。性暴力は被害に遭った女性や少女だけでなく、その家族やコミュニティにも甚大な影響を及ぼします。DV や性暴力防止法を整備する国の数は増えているものの、法の実行という課題が残ります。暴力を防止するために十分な対策が取られているわけではなく、ほとんどの場合で処罰されずにいるのです。(UN Women、2016)

詳細は：<https://www.wewillspeakout.org/>

- **難民と移民**

欧州における移民・難民危機が生じて以来、移住する女性と子どもの数は成人男性の数を上回っています。国連難民高等弁務官 (UNHCR) や国連人口基金 (UNFPA)、女性難民委員会 (WRC) は、女性と少女が性的暴力を含む、あらゆる形態の暴力に晒されるリスクを負っていると述べています。多くの女性が、例えばアフガニスタンやシリアなど、迫害やジェンダーに基づく暴力を被った国々から逃れてきます。しかし、それらの国を逃れてもなお、人権侵害に直面し続けているのが実状です。アムネスティ・インターナショナルは、レバノンでのシリア人難民女性に対する性的搾取を非難しました。また、成人男性の同伴なしに国を逃れた女性は、より高いリスクに晒されやすく、保護を受けたり司法へのアクセスが制限されるということも分かっています。受け入れ先や通過点での警備官による性暴力も報告されています。

詳細は：<https://www.amnesty.org/en/documents/mde18/3210/2016/en>



Stakeholder Engagement

主な支援団体のリストを既にお持ちの方もいるかもしれませんが、目的を達成するために、国そしてコミュニティレベルでの支援者を理解するために、関係者を一覧にすることはとても有益なことです。以下は、世界 YWCA が認識する支援者となり得るグループです。

• YWCA 運動

YWCA 運動はアドボカシーや活動を実施する際に、良き支援者になることでしょう。キャンペーンやイベントを企画する際に、あなたがいる地域の YWCA 会員にお気軽にお声掛けください。

【あなたに出来ること】

- ✓ YWCA 間でパートナー関係を築き、被害者のストーリーや写真等のコンテンツを互いに共有する。
- ✓ 女性団体やパートナー団体と連携を取り、非暴力週間に参加するように呼びかける。
- ✓ 世界 YWCA ウェブサイトの **Members Forum** に、ナショナルまたは地域 YWCA における活動を投稿し、協力を呼びかける。



• パートナーとドナー

運動体として私たちは、性と生殖に関する健康と権利 (SRHR)、メンタルヘルス、リーダーシップといった重要な課題のために、多くの地域・国・(国レベルでの) 地域・全世界的なレベルでドナーやパートナーと共に活動しています。これら全てが、世界中における女性に対する暴力や、女性・若い女性・少女が安全であることと深く関連しています。YWCA 運動はセーフ・スペースの価値を信じているので、パートナーやドナーのネットワークに、そのメッセージを伝えるのは適切でしょう。

【あなたに出来ること】

- ✓ このキャンペーンに参加し、関与してもらいましょう。メールを送り、ソーシャルメディアでの投稿にタグ付けし、最後にキャンペーンの要旨を必ず送るようにする。
- ✓ このキャンペーンを、YWCA が担うセーフ・スペースや性と生殖に関する健康と権利 (SRHR)、

人権に関する取り組みといった、より大きなマニフェストに関連付け、#WWV18 に関連したプロジェクトの成功事例を必ずドナーに送るようにする。

• 宗教・伝統的指導者

社会のあり方に信仰や伝統が深く根付いているコミュニティで活動を展開する場合、宗教・伝統的指導者を巻き込むことはとても大切です。宗教・伝統的指導者の声の人々の心と意識を変革する力を持っているからです。更に、その権威は意思決定者にまで影響を及ぼすことができます。信仰を持つコミュニティには、そこに所属するメンバーを性暴力やあらゆる暴力的な振る舞いから保護する義務と責任があります。このため、ジェンダーを基にした暴力に対して声を上げるよう宗教指導者を説得することは、アドボカシーや活動をする上で鍵となることでしょう。

【あなたに出来ること】

- ✓ 総理大臣や法務大臣、厚生労働大臣へ手紙を送るよう宗教指導者に働きかける。
- ✓ 女性に対する暴力に関する過去の「合同祈禱週冊子」を用いて、女性と少女に対する暴力についての礼拝・回想を持つように提案する。
- ✓ 祈禱会を持つ。

• 弁護士連合

弁護士は通常被害者に対してサポートを提供し、最善の方法を見つけられるような働きをします。

【あなたに出来ること】

- ✓ あなたのコミュニティにある弁護士連合に、非暴力週間について伝える。
- ✓ イベントに招待し、既存の法律を執行したり、新たに法律が採択される際に課題となっている課題について講演をしてもらう。

• 医学団体

ナショナルレベルの医学団体と協働することは、厚生労働省や、より広く言えば政府に圧力をかける点から重要です。2010年、世界医師会は(WWA)はナショナルレベルの医学団体が「効果的な普遍的な人権の保護を訴える」べきであることを宣言した決議を採択しました。これは政府に対して圧力をかけるために、医学団体が草の根の市民社会から学び、根拠に基づく情報を得ることを意味し、YWCA にとっては、様々なコミュニティで女性が直面している問題を知らせるために、医学団体と連携する良い機会となりました。

【あなたに出来ること】

- ✓ 非暴力週間についてお知らせし、意識向上のために参加してもらう。
- ✓ 患者に対して、暴力を受けた時に取るべき正しい知識を伝えるように働きかけ、また「セーフ・スペース」の存在について教授する。
- ✓ 「セーフ・スペース」での講演をお願いする。

● 議員・地域のリーダー

議員との協働は、女性に対する暴力が政治のアジェンダに乗っていることを確実にするために大切です。女性を保護する法律を整備することは、議員にとって評判を確立すると同時に、政府に同様の立場を取るよう圧力を与えることができます。議会では多くの場合、メンバーが採択されるよう、決議案や動議を出すことができます。これらは通常、法的効力を持ちませんが、それでもなお、特定の問題に注目を集め、ある活動への支援を示すのに重要な方法です。更に、議員は政府に質問でき、それは答えられなければなりません。更に、議員が政府に質問提起することで、特定の問題に対する議論を推進し、人々の意識向上のためにメディアを巻き込む良い機会にもなるでしょう。

【あなたに出来ること】

- ✓ 女性に対する暴力に対して先進的な立場を取る議員を調べる。同様のアジェンダを推進したい他の団体と協力関係を結ぶ。議員と会合を開く。
- ✓ コミュニティで女性が直面する問題を議員に伝える。
- ✓ 法律および法の執行を強化するよう求める。法律が効果を生んだ他国の事例を紹介する。
- ✓ 議員との会合が開けなかった場合、「議員に対する手紙」のテンプレートを利用し、女性に対する暴力の問題に関心を示した議員にメッセージを送る。その際、同様の問題意識を有する他団体の署名を忘れずに。

● 女性と少女に対する暴力撤廃を目指す他のキャンペーン

- **Thursdays in Black**
<https://www.oikoumene.org/en/get-involved/thursdays-in-black>
- **One Billion Rising**
<http://www.onebillionrising.org>
- **Ni una menos**
https://en.wikipedia.org/wiki/Ni_una_menos

